

12月定例議会  
始まりました

野洲市発足後、初めての定例市議会が1日から始まりました。日本共産党市議団(小菅六雄・野並享子市議)は、議案質疑や一般質問で、福祉、教育の要求実現、また、民主的な市政の実現へ、がんばります。

一般質問は、7日から10日までの予定で行なわれます。日本共産党議員団は、以下の質問を行ないます。ぜひとも、傍聴にお越しく下さい。

### 小菅六雄市議



財政は市民の暮らしを優先に。旧二町のよき施策の継続を新市では、合併特例債(117億円/10年間)で、各種のハード事業を予定しています。安易な推進は財政破綻につながります。市財政は市民の暮らしを優先にすべきです。合併で、旧中主町で行なわれていた、高齢者送迎サービスや母子家庭への町営住宅家賃補

助などが廃止されました。旧まちのよき施策を新市でも継続すべきです。

同和行政を終結し、公正で民主的な行政の推進を

終結すべき同和行政ですが、新市では旧野洲町の同和行政を継続しようとしています。本来、旧二町とも終結すべき到達点です。にもかかわらず、旧野洲町の同和行政の継続は、公正で民主的な行政を求める多くの市民の願いに反しています。

乙窪工場団地に絡む、近江ニスコへの橋の設置は公金の不当支出

乙窪工場団地(旧中主町)の造成時、特定の企業(近江ニスコ)のために公費で橋が設置されました。その費用は約500万円で不当な公金支出です。また、特定の公有財産(道路・橋)を、特定の企業や個人が独占的に使用することは法律でも固く禁じられています。



### 野並享子市議

自校方式による中学校給食。三上・中主学童の施設整備増築  
文部科学省でも、「学校給食は地域の産業や食文化を教育的に指導する」ものとして実施を指導しています。この観点からも、中学校での早期実施と自校方式が必要です。

子どもの放課後の安全は保護者のみならず行政の責任です。全学童保育所の運営を早期に公営(旧中主町では社協委託)にすべきです。学校の空教室を利用している三上学童の早期建設を。また、中主学童では待機者も発生しており、施設の増築をすべきです。

幼稚園の、3歳児クラスを20人定数、4・5歳児も30人基準にすべき

来年度から、三上幼稚園など三園で3年制が実施されます。3歳児のクラス定員を20名に、4・5歳児でも30人にすべきです。中主幼稚園では、3年制の導入とともに実施されています。

ゴミ処理は自治体の責任で

県が志賀町に建設を予定している廃棄物処理場に野洲市も投入する計画がされている。本来、ゴミの処理は自治体が責任を持ち行なわれなければなりません。広域処理では災害時にゴミ処理がマヒすることが中越地震でも明らかになっています。

新市財政は市民の暮らしを優先で  
旧二町のよき施策の継続を  
自校方式の中学校給食実施を  
幼稚園クラス定数を保育園並に  
ゴミ処理は自治体の責任で

「景気は回復基調」という政府の言葉と裏腹に、市民の暮らしや営業は大変です。このような中で定例市議会です。日本共産党議員団は、この間、市民のみならずから寄せられた切実な願いの実現へ、十一月議会でも全力でがんばります。



やす民報

発行 日本共産党野洲市委員会  
2004年12月5日 8

市政へのご意見・ご要望、暮らしの相談をお気軽にお寄せください

小菅六雄 (住所)比江668-3 (TEL)589-4971 (FAX)589-6184  
野並享子 (住所)北野1丁目7-10 (TEL)587-0985 (FAX)586-1102